

練習問題 6 (貨幣市場)

問 1

中央銀行によるマネーサプライの管理に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。なお、マネーサプライは現金通貨と預金から構成され、ハイパワード・マネーは現金通貨と銀行準備から構成されるものとする。【地方上級・平成8年度】

- 1 中央銀行がハイパワード・マネーを増加させると、貨幣乗数倍のマネーサプライが増加する。マネーサプライにおける現金通貨と預金通貨の割合によっては、貨幣乗数は1を下回ることがある。
- 2 中央銀行による公開市場操作は、貨幣乗数に影響を与えるが、ハイパワード・マネーには影響を与えない。このため公開市場操作は、貨幣乗数の変動を通じてマネーサプライを変化させることができる。
- 3 中央銀行による法定準備率の操作は、ハイパワード・マネーに影響を与えるが、貨幣乗数には影響を与えない。このため法定準備率の操作は、ハイパワード・マネーの変動を通じてマネーサプライを変化させることができる。
- 4 ハイパワード・マネーは内部貨幣とも呼ばれ、市中銀行の負債であり、銀行部門全体の信用創造によって供給される。このため、中央銀行によるハイパワード・マネーの操作は不可能である。
- 5 現金通貨と預金の割合が各経済主体の自由な資産選択活動の結果決定されるのならば、貨幣乗数が増減しやすくなることにより、中央銀行によるマネーサプライの管理は困難になる。

2は誤り。

問 2

貨幣量が100、物価が3、取引量が200のとき、貨幣の流通速度はいくつになるか。フィッシャーの交換方程式を用いて求めなさい。

- 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6

問 3

貨幣量が750兆円、名目GDPが500兆円のとき、マーシャルのkはいくつになるか。ケンブリッジ方程式を用いて求めなさい。

- 1 0.5 2 1 3 1.5 4 2.0 5 2.5

問4

公衆が保有する現金通貨と預金通貨の額をそれぞれC、D、銀行部門が保有する支払い準備の額をRとする。【地方上級・平成7年度】

今、公衆の現金・預金比率（ C/D ）は0.3、銀行部門の支払準備・預金比率（ R/D ）は0.1であるとする。

ハイパワードマネーの量が30兆円であるとき、公衆が保有する預金通貨の額Dはいくらか。

- 1 55兆円 2 60兆円 3 65兆円 4 70兆円 5 75兆円